

2018年JRA同好会開催報告

幹事 丸山暢久 (4組)

4月29日(日)昭和の日に、JRA同好会が府中の東京競馬場で開催された。当日は京都で天皇賞があった。今年も昨年と同様の参加者18名で催行した。65期は柏木集保(保衛)君、浅倉英樹君、成澤文和君(4組)、大野正広君(3)、塩川明男君(6)と丸山の6名であった。残りの12名は夫々の知人・友人方で、今年は女性が4名と彩り?を添えた感じがした。

ここ数年の傾向だが65期の参加者は半数程度で、齢を重ねると色々体調の事や諸事情がバッティングし、当初の頃の10数名からは大幅に減ってしまった。その分、賛助会員と呼ばせて貰っている知人・友人が参加して戴き大変助かってきた。ダービールームは20名を少し切る位が丁度良いスペースで、興奮し易い人が居てもそれ程気にならない。

これまで何回開催したか、特に記録を取ってないので分からないが、当初私が柏木君との接点でスタートした関係から約10年位続いているかと思う。今年の開催について柏木君と相談している時に、柏木君から「今年で自分は定年で引くので、もしかすると最後になるかもしれない」との話が出た。それなら尚更、寂しい開催にしてはならないと思い、柏木君の引退を敢えて伏せて話を進めた。

色々な人の支援により18名の参加者で開催でき、安堵した処であった。柏木君には、参加者からほんの気持ち程度だが記念品をお渡しすることができた。

扱、柏木君の日刊競馬編集長としての最後の仕事及びテレビ解説は5月27日のダービーが最後である。彼らしい奥深くファンに親切な予想と解説になるものと思う。

尚、賛助会員からは来年も是非お願いします、との希望があり、この件は一に柏木君の都合次第と云うことになるでしょう。中々世代交代もあってG1等の開催日は難しくなる由。そういう開催日を避ければ、ひょっとすると可能かもしれない。柏木君、宜しく頼みます。

(18年5月25日記)

【写真説明】

東京競馬場にて(左から丸山、浅倉、成澤、大野、塩川、柏木)

